

6/6～10 留学生WEEK開催

関西学院大学は6月6日(月)～10日(金)、西宮上ヶ原キャンパスで第10回留学生ウィークを開催する。留学生と日本人学生が交流を深めるのが目的。

関西学院大では現在、世界各国からの留学生約720人が学ぶ。スーパーグローバル大学創成支援に採択され、留学生受け入れ人数を2023年には1500人に増やし、今後も留学生と日本人学生が共に学びあうキャンパスの実現を目指している。

期間中、交換留学生在日本で見つけたクールなものを日本語で紹介する「クールジャパントークショー」や、縁日(夏祭り)・書道体験など日本文化を共に楽しむ企画を開催する。最終日には、留学生による日本語でのスピーチ発表会が中央講堂であり、普段の日本語の勉強の成果を発揮する。トークショーやスピーチ発表会では、留学生在が司会を務め、日本語でイベントを進行する。(一般参加不可で、参加対象は本学の学生・留学生・そのホストファミリー。当日の取材は可能)

～第10回 留学生WEEK～

■期間・場所:

2016年6月6日(月)～10日(金)、西宮上ヶ原キャンパス
＜クールジャパントークショー＞

■日時: 2016年6月8日(水) 13時30分～15時

■場所: 西宮上ヶ原キャンパス
G号館グローバルラウンジ

ドイツ・ノルウェー等からの交換留學生7人が、トイレや食券の自動販売機などをテーマに話し、その後日本人学生コメンテーターや聴衆からの質問を受ける。日本語での質疑応答が難しい場合には、司会の留学生在が英語で通訳サポートする。



＜日本語スピーチ発表会＞

■日時: 2016年6月10日(金) 9時～12時40分

■場所: 西宮上ヶ原キャンパス中央講堂

インドネシア・ラトビア・フランスなどアジア・欧米からの留學生26人が日頃の成果を発表する。テーマは「関西人になる方法」「地震」「日本の強いおじいさんとおばあさん」等多様。

＜縁日(夏祭り)＞

■日時: 2016年6月7日(火)

13時30分～16時40分

■場所: 西宮上ヶ原キャンパス
G号館グローバルラウンジ

スーパーボールすくいなどミニ夏祭りを開催。



本資料に関する報道関係者からの問い合わせは関西学院広報室(TEL: 0798・54・6017)までお願いします。

外国人観光客に英語でボランティアガイド～明治神宮や心齋橋で～



宮本麒太郎さん(総合政策学部2年、写真右)は関西学院千里国際高等部2年生の時、英語で外国人観光客を案内するボランティアガイド団体「PIPS JAPAN」を設立した。現在、東京では明治神宮や上野、関西では心齋橋を中心に毎週末、団体の名の入ったTシャツを着て、プラカードを持ち外国人観光客を案内している。



設立のきっかけは、関西学院大学国際学部在籍する先輩が、facebookでシェアしていたイベントに参加したこと。東京で開かれたこのイベントには、全国から約100人の高校生が集まり、4人ごとのグループに分かれて、3カ月間で、起業やボランティア団体の立ち上げをしようという内容だった。当時は週2回、学校が終わると新幹線で東京へ向かい、講義を受け、夜行バスの出発時間までチームで会議などを行い、帰った後は学校へ通うという生活を送っていた。

「こんな多忙な日々を送ることがよくできたと思う。しかし、一緒に活動する高校生の凄さに驚いたのと同時に、自分も絶対に負けたくない、社会にインパクトを与えたいという思いがあったため、しんどいとは感じなかった」と当時を振り返る。

そんな生活が続けるうちに、東京や関西を訪れる外国人に日本文化を知ってもらい、日本と日本人を好きになってほしいと感じるようになった。一方、日本の高校生にももっといき実践的英語を学ぶきっかけや異文化を身近に体験してもらいたいとの思いが深まり、「PIPS JAPAN」の活動をはじめた。活動の一番の面白みは、新しい出会い。「観光客の方々はもちろん、一緒に活動するメンバーや、活動を応援してくれる社会人の方々との出会いは私の人生を豊かにしてくれる。同時に、困難な状況でも頑張ろうという考えを与えてくれる」と目を輝かせる。

宮本さんは大学のプログラムで今年9月から半年間、フィリピンのNGO「PBSP(Philippine Business for Social Progress)」で、現地の職員たちと地方の水道インフラ整備事業に取り組む予定だ。「成長の著しいアジアで現地の多様なニーズにあった独自性のある都市の発展に寄与するのが私の夢。関西学院大で都市政策について学び、交換留学をして開発経済学や公共政策、公共経済学についても知識を深めたい」と意気込む。